

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第158号



2019年11月11日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9



単組活動報告その2 年金者組合

年金引き下げ違憲訴訟

全日本年金者組合横須賀支部
藤枝千鶴子

年金者組合は、全国的な組織です。高齢者が楽しく交流し、学び同時に暮らし易い地域を作るために活動しています。私達は4年前に、年金切り下げ反対裁判を全国的に立ち上げ、闘っています。横須賀支部では、3人の原告を出しています。霞が関にある東京地裁には、神奈川の各支部の原告団とその応援団が年に3~4回集まります。くじに当たった人が傍聴できます。当日の裁判が終わると原告団と応援団の人たちは議員会館に集まり、報告を聞きます。年金裁判は、年金削減が憲法25条で保障されている、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障していないという違憲裁判です。政府が導入した「マクロ経済スライド」という制度は年金額が年々減っていく制度です。年金問題は、高齢者の問題でなく、今働いている現役世代の問題になっているのです。

第30回定期大会、盛会！

横三労連の第30回定期大会は、10/28(金)に開催され、神奈川労連、県労働センター、横須賀原水協、共産党井坂市議の4人から来賓挨拶を受けました。

単組からの発言では、土建から建設アセスメント裁判、三浦市職労から拡大や若手職員処遇改善、技能労務職の問題、平和の取り組み、県職労から賃金確定闘争、年金者組合から

年金裁判や仲間ふやし(写真下)、うわまち病院から過半数代表選挙や業績評価制度反対闘争、自交総連からライトシェア、合同労組からベーカー争議や学習会、愛加那から組合結成と争議、拡大についてなどが報告されました。

総括・方針など、圧倒的多数の賛成で採決され、最後は恒例の団結ガンバロー(写真上)で終わりました。



横須賀に極秘機関があった！

戦後、陸軍登戸研究所の所員の一部は、アメリカの求めに応じ、横須賀基地内の極秘機関“GPSO”=政府印刷物補給所で働いていました。ここでは、米国のスパイが使用する偽造文書などが製造されていました。

ほとんど知られていないこの事実を、登戸研究所資料館長で、明治大学教授の山田朗氏が、横須賀で講演します。11/16(土)14時 博物館本館講座室です。